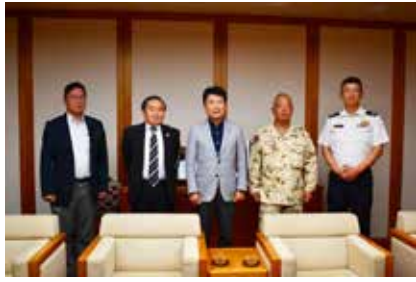




自衛隊栃木地方協力本部

国際派遣に伴う出国挨拶に同行 ～国際社会の平和と安定に貢献する～



左から
栃木地本副本部長（藪中事務官）
栃木県防衛協会副会長（小田島氏）
宇都宮市長（佐藤氏）
20次警衛隊長（西3佐）
中央即応連隊長（堀口1佐）



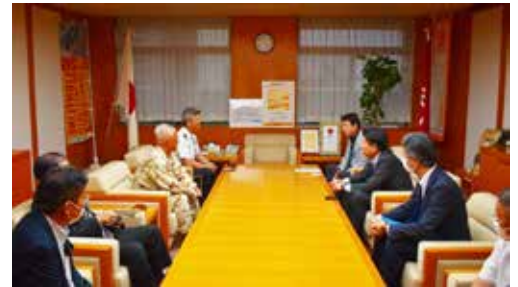
左から
中央即応連隊長（堀口1陸佐）
20次警衛隊長（西3陸佐）
栃木県知事（福田氏）
栃木地本長（梶1陸佐）

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 恒一郎1陸佐）は、6月28日（水）宇都宮市長（佐藤氏）、6月29日（木）栃木県知事（福田氏）へ中央即応連隊（宇都宮市）の国際派遣に伴う出国挨拶に栃木県防衛協会副会長（小田島氏）と同行した。

今回の出国の挨拶は、宇都宮駐屯地（宇都宮市）に所在する中央即応連隊が、第20次派遣隊海賊対処行動支援隊等派遣隊員として任務に就くことについて、宇都宮市長及び栃木県知事に出国挨拶を行ったものである。中央即応連隊長（堀口1陸佐）及び警衛隊長の西3佐に対し、宇都宮市長は「派遣先は危険な場所と聞いている。朝晩の気温差もある。健康に注意して無事に帰ってきてください」、栃木県知事からは「ジブチはゲリラ豪雨もあり気温も50度を超える」と聞いた。半年間の任務を果たして気を付けて帰ってきてください」と言葉を交わしていた。



栃木県知事挨拶の様子（6.29）



宇都宮市長挨拶の様子（6.28）

自衛官募集相談員大田原支部総会を支援



募集状況の説明をする大田原所長

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、6月30日（金）、大田原市西公民館で実施された自衛官募集相談員大田原支部総会を支援した。

コロナ後、3年ぶりの開催となった総会には16名が参加し、新井孝男支部長は「今まではコロナの影響もあり、なかなか相談員同士で連携を取ることも難しかった。これからは相談員同士一丸となって、大田原事務所と密に連携を取り、積極的に自衛隊のPRをし、各広報官を支援していこう」と熱く語っていた。

また、大田原所長は相談員に対し、現在の募集状況を伝え、「少子化により、より一層厳しくなる募集状況の中で募集相談員の支援は必要不可欠であり、今後も募集協力及びイベント等での支援を引き続きよろしくお願いします」と、熱く要望するなど、相談員との連携強化を図ることが出来た。

大田原地域事務所は、「今後も、相談員と連携し、『地域密着型』の広報で更なる募集広報の強化を図っていく」としている。



総会の様子



総会の様子2



真剣に説明を聞く相談員の様子